

## 令和7年度 学校評価アンケートの分析

### 1 学校評価アンケートの結果

アンケートの調査結果は、別添資料1～3のとおりです。

### 2 児童アンケート結果分析

(1) 「②友達となかよくしている」という質問に対して「あてはまる」「おおむねあてはまる」と回答している児童が96.0%という結果でした。保護者アンケートでも「②子どもたちは、自分のことも友達のこと大切にも思っていると感じる99.1%」という高い結果であることから、子どもたちが互いを尊重し、思いやりの心をもって学校生活を送っていると言えます。

(2) 「⑤学校行事や当番活動、係活動、委員会活動にしっかり取り組めた93.6%」「⑥学校の決まりや交通ルール、授業の始まりの時間などをしっかりと守ることができた88.4%」という結果に加え、保護者アンケートでも「⑤子どもたちは、学校行事や委員会、係の活動に意欲的に取り組んでいると思う 96.6%」「⑥子どもたちは、時間や学校のきまり、交通ルールなどを守って生活できていると思う 96.6%」と高い結果でした。子どもたちが自分の役割に責任をもち、主体的に行動できていると言えます。

(3) 「①学校に来るのが楽しい88.1%」「④授業では友達の発言をよく聞き、自分の考えを進んで発言しようと努力できた76.0%」は、昨年度よりポイントが上昇しました。互いを認め合い、自分に自信をもって活動できる子どもが増えていると言えます。

(4) 「③自分にはよいところがあると思う77.2%」「⑦食まるファイブを意識するなどして、バランスのとれた食事を心がけ、健康に気を付けることができた74.7%」「⑧体育の授業や長放課に外遊びをするなど、進んで体を動かして、体力を高めようとした79.0%」「⑫困ったときに相談できる先生がいる79.1%」の各項目は、昨年度同様に80%を下回る結果となりました。子どもたちのよさを認めるとともに、食育や運動習慣の定着に向けて積極的な働きかけを継続していきます。

(5) 「⑩授業は楽しく、内容がよく分かる84.5%」は、昨年度より下がりました。また、教職員アンケート「⑩学習指導要領に対応した授業改善を行い、分かりやすい授業を心がけている87.1%」でも同様の傾向が見られました。この結果を真摯に受け止め、子どもたちが「わかった」「できた」を実感できる授業づくりと研修を一層積み重ねていきます。

### 3 保護者アンケート結果分析

(1) 全ての項目において、「あてはまる」「ほぼあてはまる」という回答が 80.0%以上であり、学校生活におおむね満足いただいていることが伺えます。

(2) 「⑧子どもたちは、栄養バランスを意識して家庭の食事や給食を食べるなど、健康に気を付けていると思う82.0%」「⑩教職員は、授業において子どもたちに分かりやすい指導を行っていると思う95.9%」は、昨年度より約4ポイント上昇しており、学校の取組が肯定的に捉えていると考えられます。

### 4 教職員アンケート結果分析

(1) 「③児童は、自分にはよいところがあると思っていると感じる77.4%」「⑧児童が食まるファイブを意識するなど、バランスのよい食生活をして、健康に気を付けるように指導している61.3%」は、15ポイント以上低下しました。これまで以上に、子どもたちが自分のよさを感じられるような支援、栄養バランスについて考えていく機会を増やしていくよう心がけていきます。

## 5 来年度に向けての改善策

- (1) 子どもたちが「自分にはよいところがある」と自信をもてるよう、一人一人の子どもに目を配り、個々のよさを認める支援を積極的に行っていきます。
- (2) 子どもたちが「わかった」「できた」を実感できる授業づくりと研修を一層積み重ねていきます。
- (3) 健康な生活については、栄養バランスについて考えていく機会を増やしたり、体育の授業や長放課で十分に体を動かすように指導や声かけをしたりしていくよう心がけていきます。ぜひ、ご家庭でも積極的な声かけをお願いできればと思います。

## 6 第三者評価(学校運営協議会委員からの提言)

- (1) 現代社会において他者への配慮が薄れつつあると言われる中、アンケート結果から、子どもたちが思いやりの心をもって生活できている様子が見えかけるのは、非常によいことである。
- (2) 子どもたちの自己肯定感を高めるため、地域としても子どもたちのよい姿を伝えていきたいと思う。学校側でもそのよい姿を紹介し、ぜひ子どもたちを褒めてほしい。
- (3) 児童のアンケートで「分からない」と回答する割合が増えている点が気になる。質問の意図が正しく伝わっているかなど、回答の方法について再検討をお願いしたい。